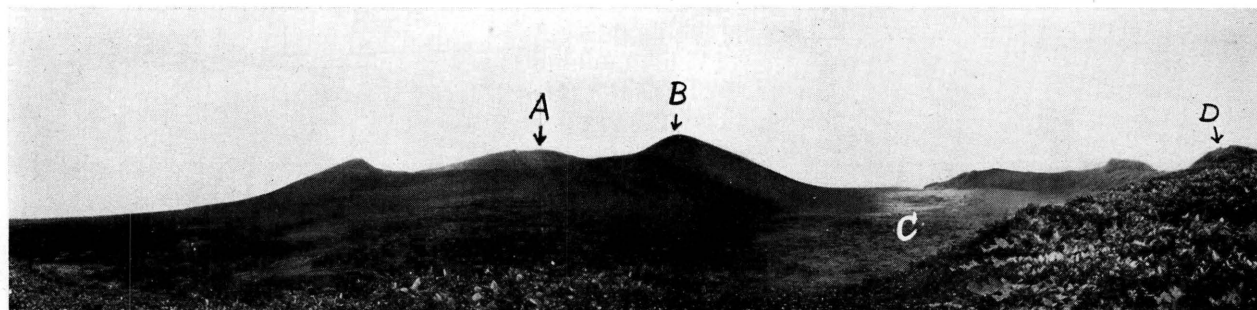


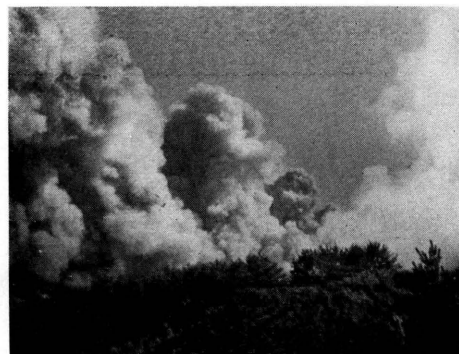
昭和15年 伊豆三宅島噴火寫眞 (其の1)
7月~8月



(1) 雄山外輪山東北東部より中央火口丘を望む
A ; 中央火口丘三角點 B ; 中央火口丘北側最高點 C ; 火口原 D ; 外輪山北側最高點



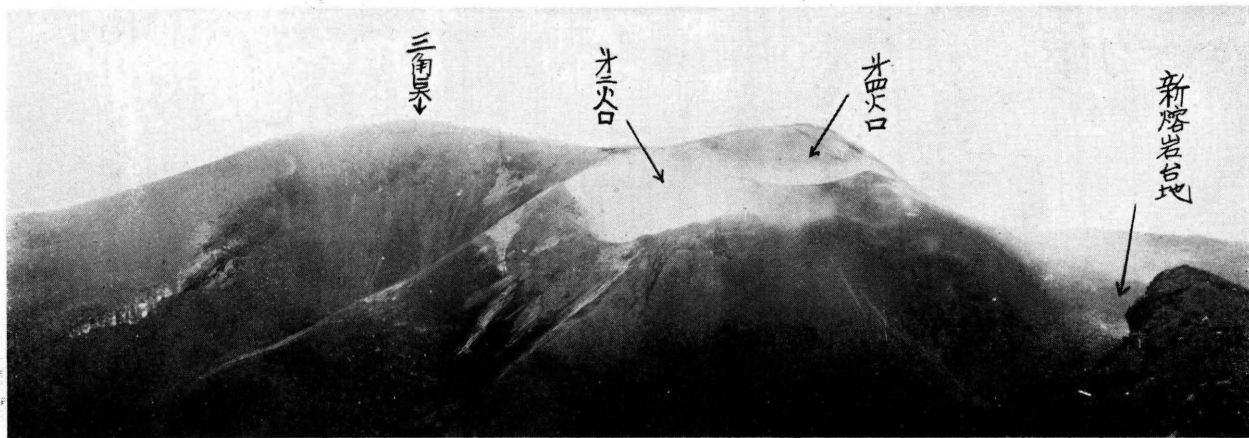
(2) 大久保濱沖より雄山噴煙を望む (7月16日撮影)



(3) 下馬野尾より雄山噴煙を望む (7月17日撮影)

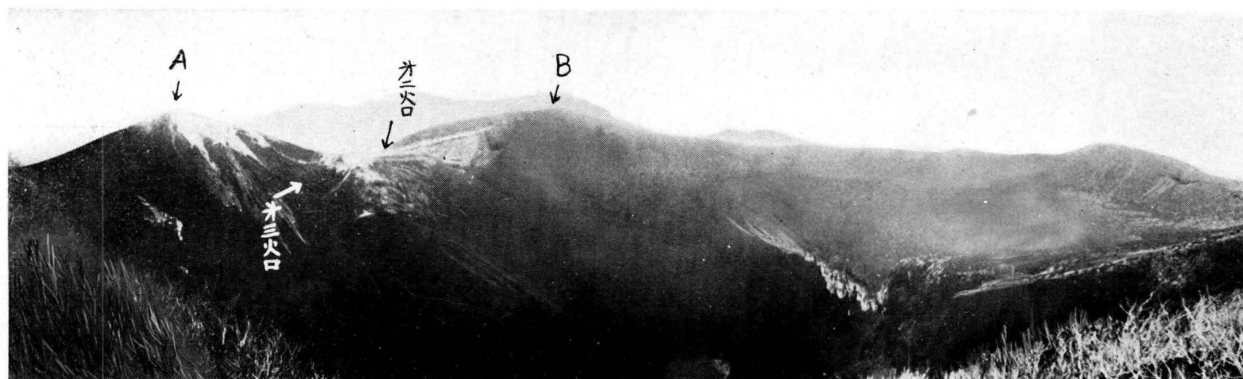
昭和15年9月24日 東部軍司令部許可済
口繪寫眞及び地圖類はすべて
昭和15年10月15日 横須賀鎮守府檢閲済

昭和15年 伊豆三宅島噴火寫眞 (其の2)
7月~8月



(4) 雄山新火口丘北側〔寫眞(1)のB點より望む〕

昭和15年 伊豆三宅島噴火寫眞 (其の3)
7月~8月

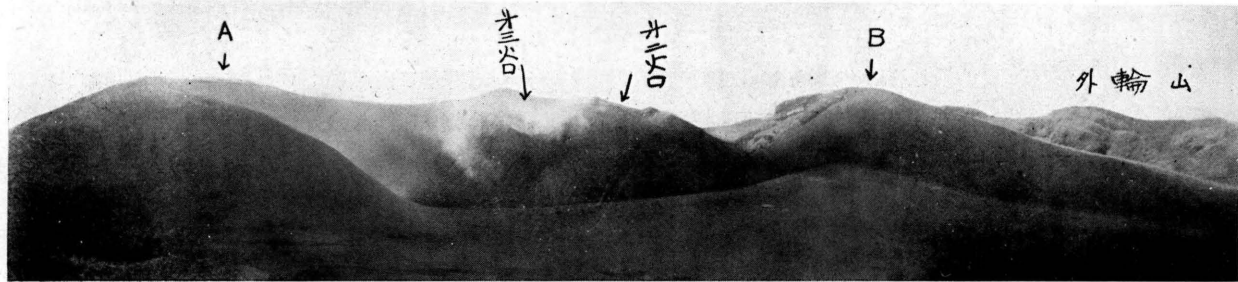


(5) 雄山新火口丘南側 (中央火口丘三角點より望む)

A ; 新岩津丘最高點

B ; 中央火口丘北側最高點

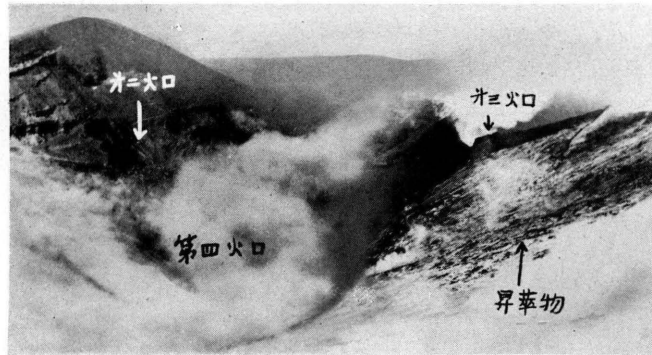
昭和15年 伊豆三宅島噴火写真 (其の4)
7月~8月



(6) 雄山新火口丘東側 (中央火口丘東部より望む)

A ; 中央火口丘三角點

B ; 中央火口丘北側最高點



(7) 雄山新火口 (第4火口西側より望む)



(8) 雄山北方最高點附近の抛出岩塊及びその落跡

昭和15年 伊豆三宅島噴火寫眞 (其の5)
7月~8月



(9) 雄山新熔岩臺地 (北側より望む)



(10) 雄山新熔岩臺地北端部

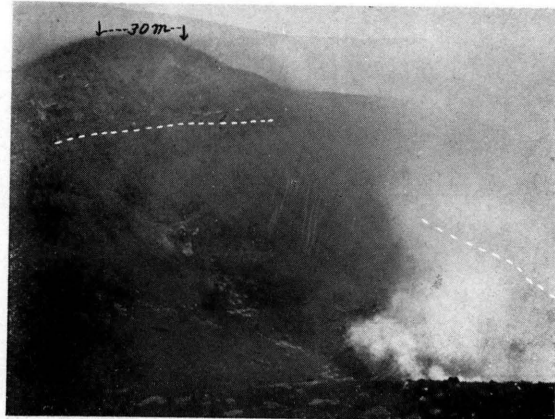


(11) 雄山灌木林の被害

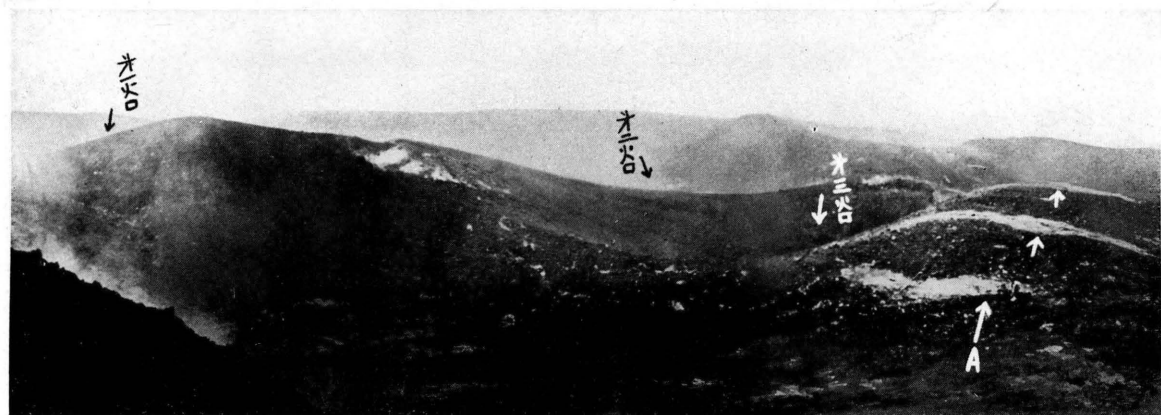
昭和15年 伊豆三宅島噴火写真 (其の6)
7月~8月



(12) 中腹第1火口 (第1火口西側火口縁上より望む)
舊熔岩流の上に新熔岩流更に新抛出物層がのつてゐる

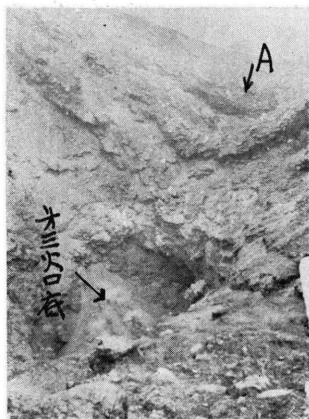


(13) 中腹第1火口 (第1火口東側火口縁上より望む)
点線の上部は舊熔岩流



(14) 中腹噴火口 (第3火口南方より望む) A ; 割目に生じた昇華物

昭和15年 伊豆三宅島噴火写真 (其の7)
7月~8月



(15) 中腹第3火口底
A ; 第3火口内壁北東
側上部の小火口



(16) 中腹第4火口を南西より望む



(17) 中腹火山砂礫堆積地帯, ↓ ; 新火口



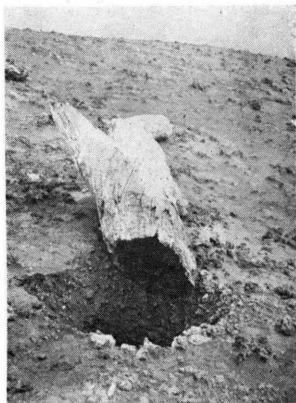
(18) 中腹第1火口新熔岩流,多くの割目が見える



(19) 中腹第1火口新熔岩流
舊山帯に盛り上つてゐる所



(20) 中腹火口より抛出された大熔岩塊

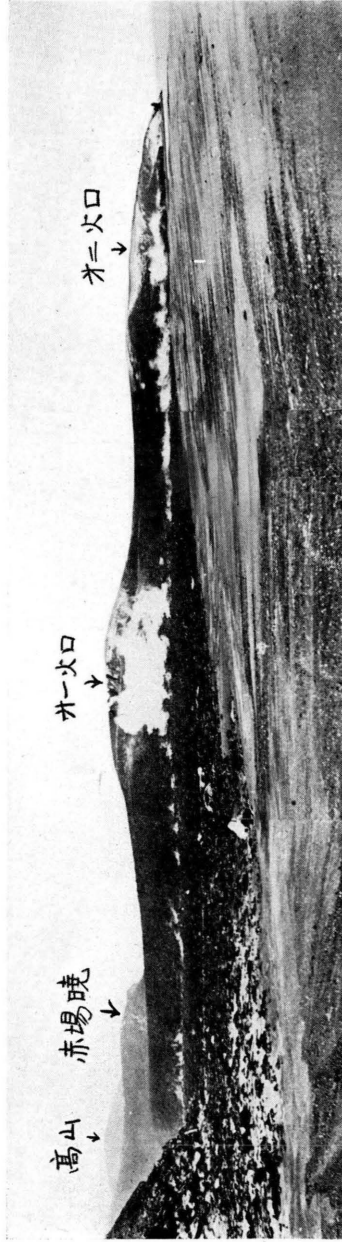


(21) 中腹抛出物堆積層中に生じた
樁の大木の焼穴(深さ約3米)



(22) 中腹火口の抛出物による樹木の被害

昭和15年 伊豆三宅島噴火寫眞 (其の9)
7月~8月



(23) 草山 (南方サヌダ岬方面より望む)

手前の砂濱は隆起により新しく生じたもの



(24) 瓢箪山 (北方アノウ崎より望む)

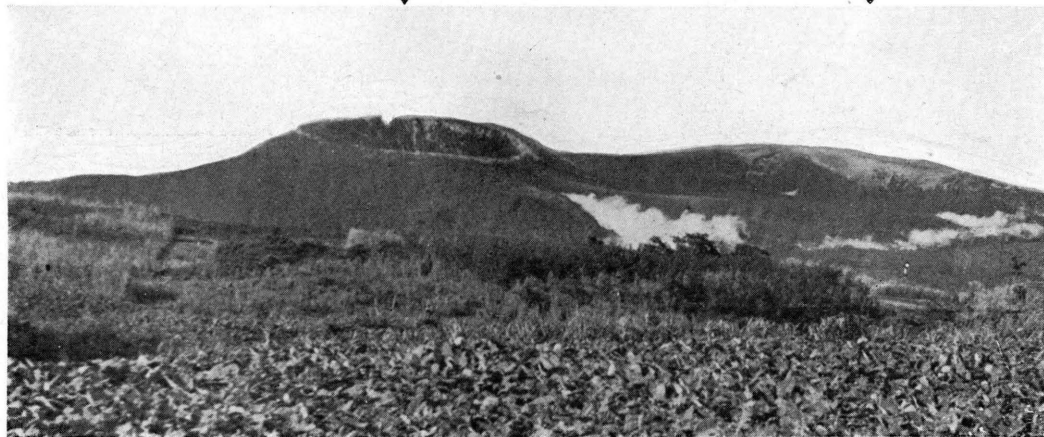


(25) 瓢箪山 東端部(南側より望む)

第1火口

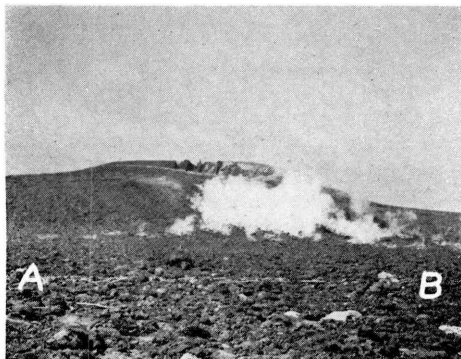


第2火口



(26) 瓢箪山 (南西側より望む)

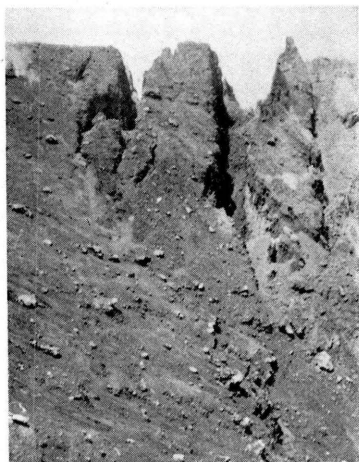
昭和15年 伊豆三宅島噴火寫眞 (其のII)
7月~8月



(27) 瓢箪山第1火口
A B線上に流木の並んでゐるのが見える



(29) 瓢箪山第1火口外斜面に生じた黄色昇華物



(28) 瓢箪山第1火口縁の割目



(30) ヨリダイノ鼻に於ける崖崩れ及び抛出熔岩(↓印)



(31) ヨリダイノ鼻に於ける隆起
A B線は舊汀線で高さ海面上約2米
赤場曉



(32) 隆起のために生じた新砂濱
(サタドー岬より望む)



(33) 赤場曉湾内の熔岩流 (瓢箪山第1火口縁より望む)

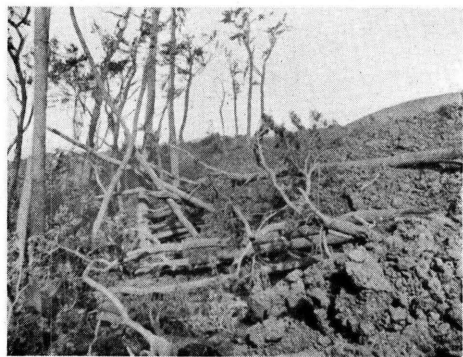
昭和15年 伊豆三宅島噴火寫眞 (其の13)
7月~8月



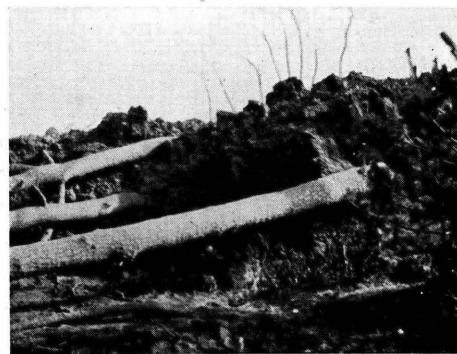
(34) 赤場曉灣内の熔岩流



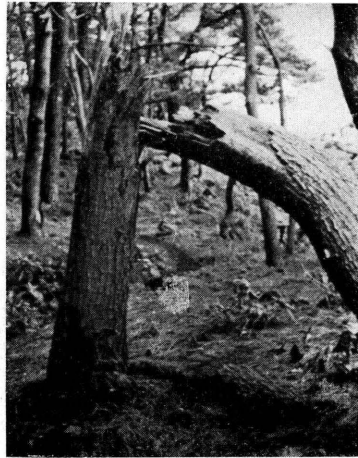
(35) 同上熔岩流中の割目



(36) シトリに於ける中腹第1火口熔岩流の末端部



(37) (36)に同じ



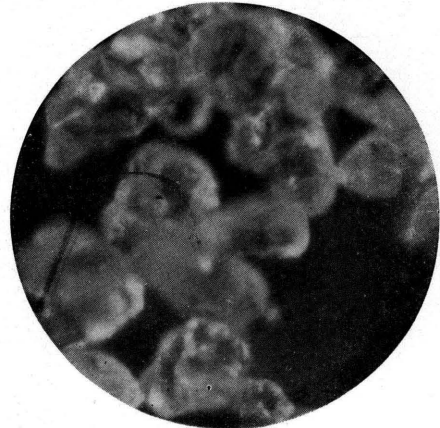
(38) シトリに於ける抛出熔岩のために折れた松の木



(39) 黄色昇華物顯微鏡寫眞(×123)(瓢箪山頂上にて採集)

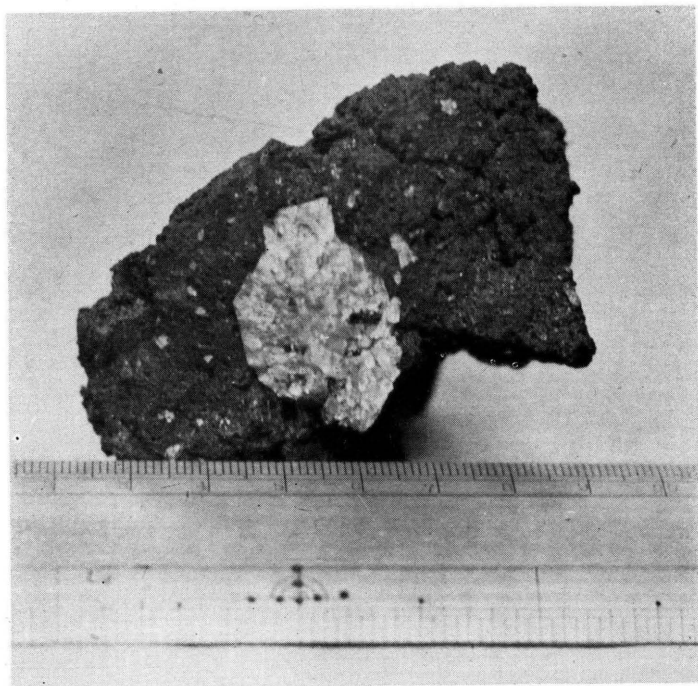


(40) 白色昇華物顯微鏡寫眞(×123)
(中腹第4火口附近にて採集)

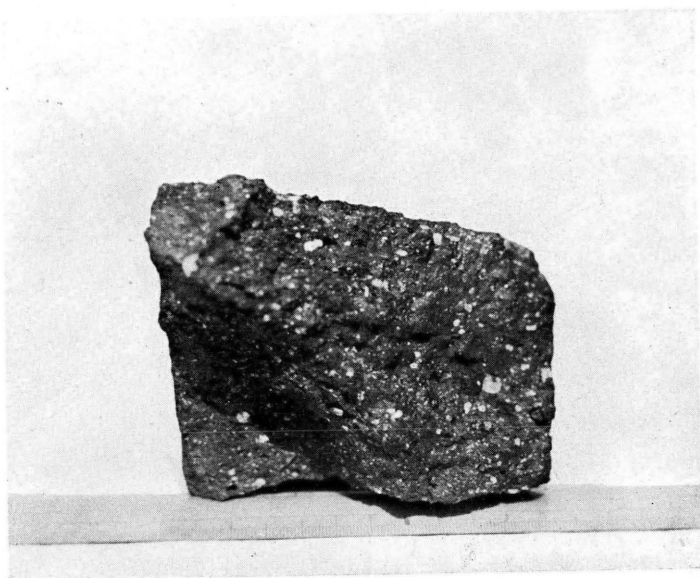


(41) 純粹の NH_4Cl の顯微鏡寫眞(×123)

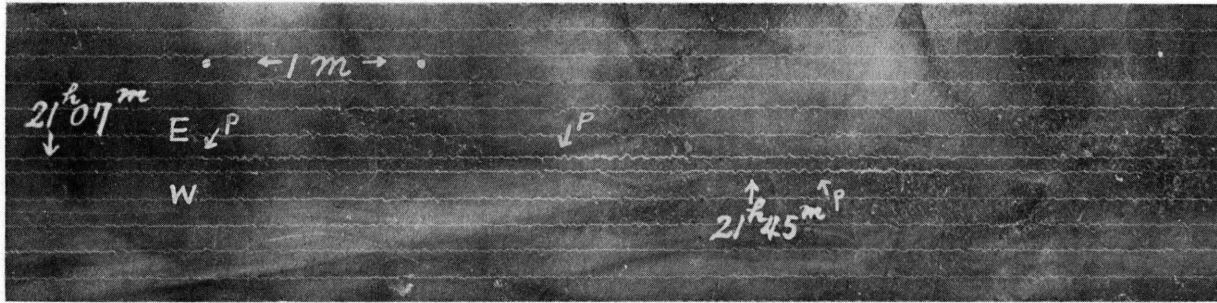
昭和15年 伊豆三宅島噴火寫眞 (其の15)
7月~8月



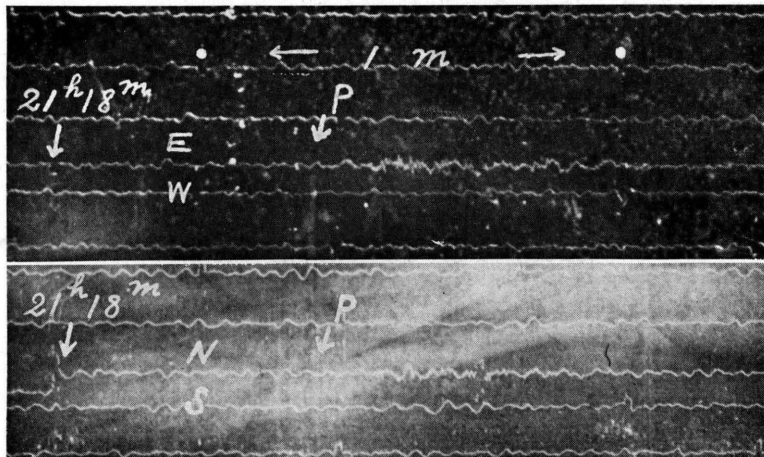
(42) 新抛出岩中の灰長石の斑晶



(43) (42) に同じ



(44) 昭和15年7月12日21時頃の三宅島噴火に伴ふ微動(倍率80, $\Delta t = +4^m 38.8^s$), 大島測候所ウィーヘルト地震計記象



(45) 三宅島噴火に伴ふ最大微動(倍率160); 昭和15年7月12日21時23分14.5秒
 大島測候所ウィーヘルト地震計記象

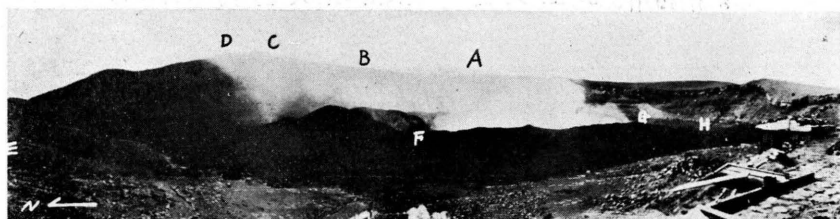
昭和15年 伊豆大島三原山噴火寫眞 (其の1)
8月19日



元村より噴煙を望む (19日午前4時撮影)

口繪寫眞及び地圖類はすべて
昭和15年 東部軍司令部許可済
9月21日
昭和15年 横須賀鎮守府檢閲済
10月15日

昭和15年 伊豆大島三原山噴火寫眞 (其の2)
 8月19日



第1圖 噴火直後火口茶屋より火口を望む (噴火前の寫眞と比較参照)



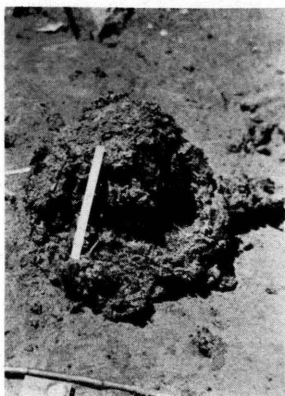
第2圖 A地點で火山彈の穿つた穴



第3圖 D地點のコークス状堆石
 西方火口茶屋を望む



第4圖 E地點の新熔岩
 右方がN



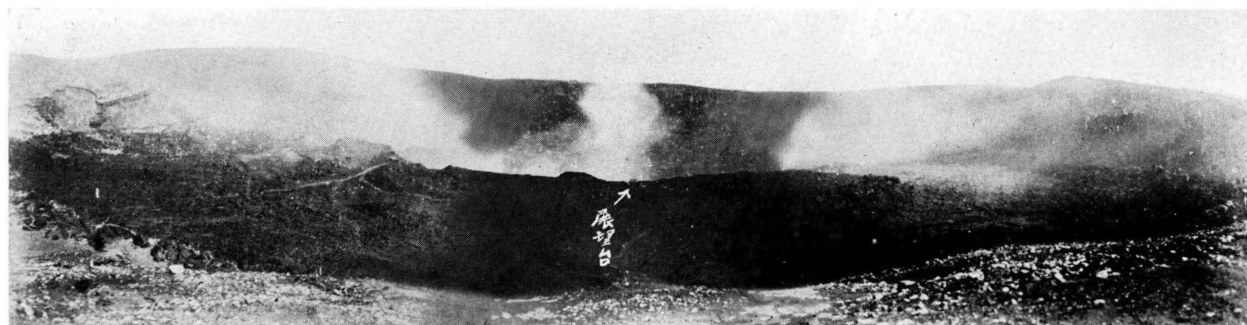
第5圖 第4圖の熔岩(左)近寫



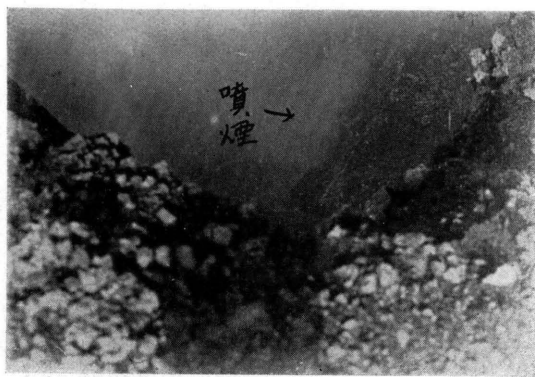
第6圖 F地點の展望臺柵、一帯に新熔岩に覆はる

第1回踏査報告附圖 (北, 川島)

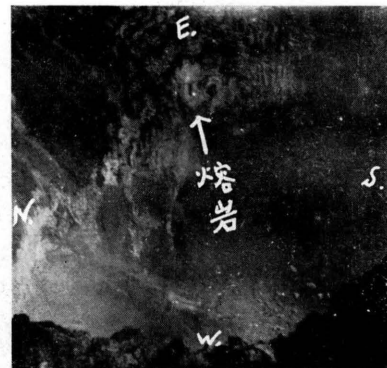
昭和15年 伊豆大島三原山噴火寫眞 (其の3)
8月19日



(1) 噴火前の火口全景 (15日午後3時05分) (噴火前の状況附圖 川島)



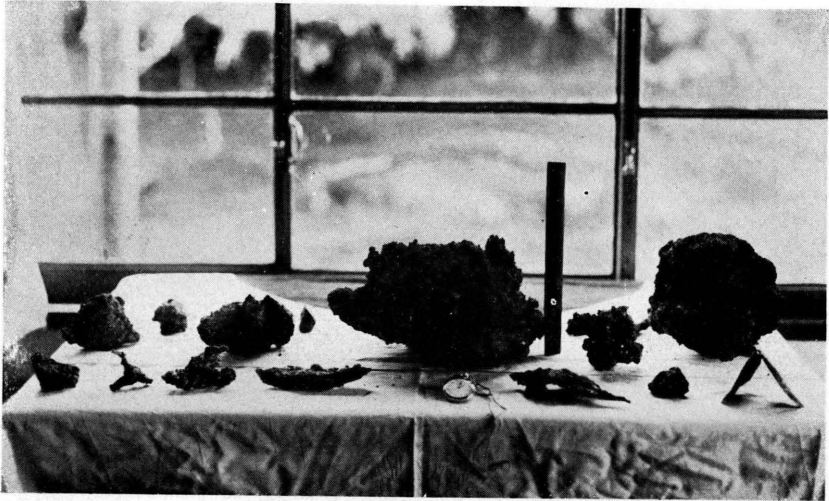
(2) 南西側より見たる火口底
(15日午後3時30分)



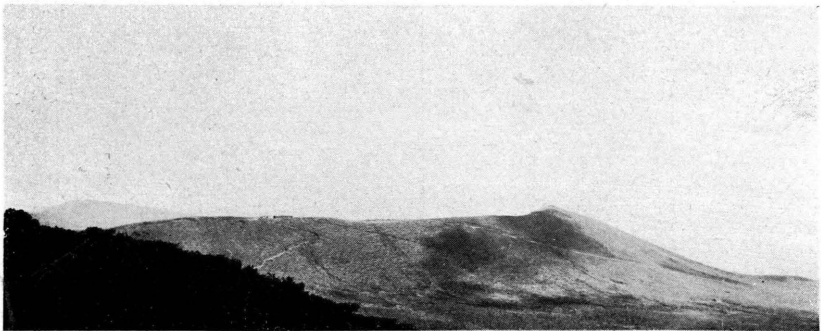
(3) 火口底の熔岩露出
(20日午後1時20分)

(第2回踏査報告附圖 川島, 柳瀬)

昭和15年 伊豆大島三原山噴火寫眞(其の4)
8月19日

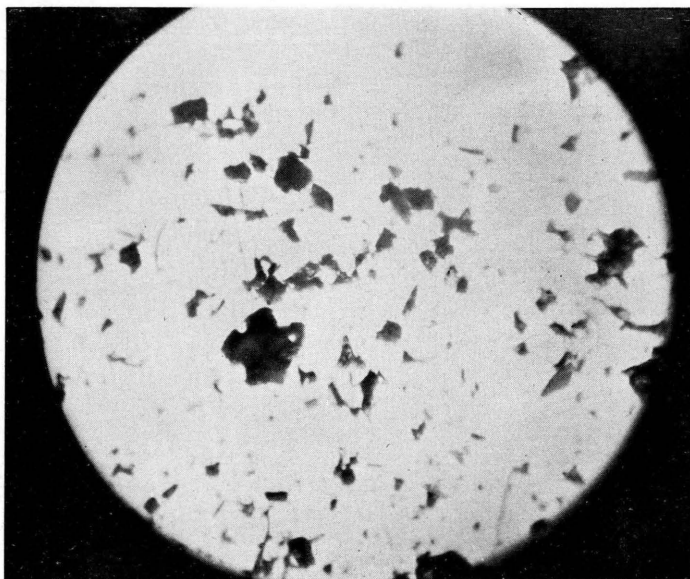


噴出せる熔岩

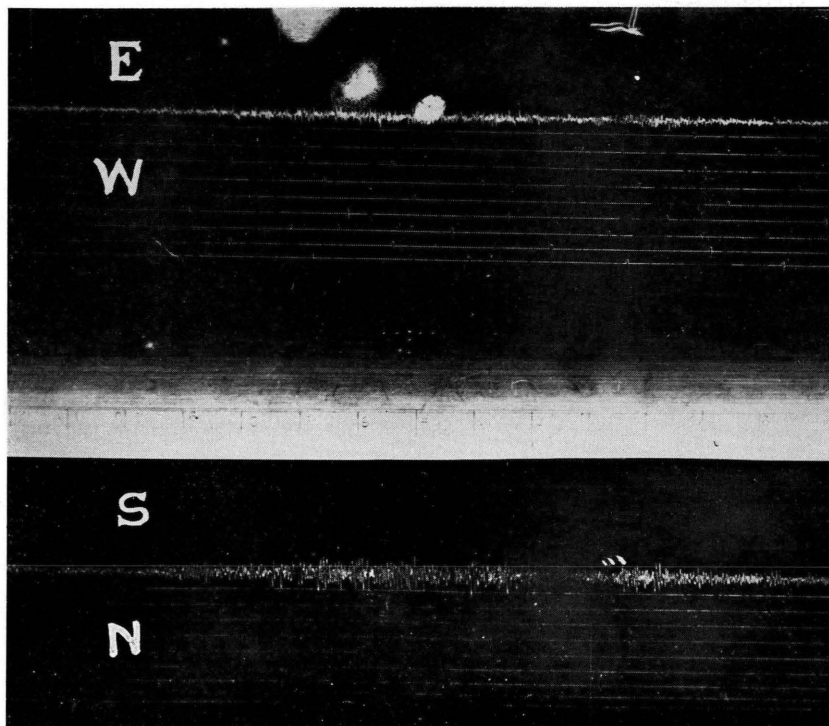


噴火後噴煙殆んど無き三原山 (24日撮影)

昭和15年 伊豆大島三原山噴火寫眞 (其の5)
8月19日



降灰の顯微鏡寫眞・大きな塊は熔岩の小片、火山毛の破片を含んでゐる
(波浮港にて採集)

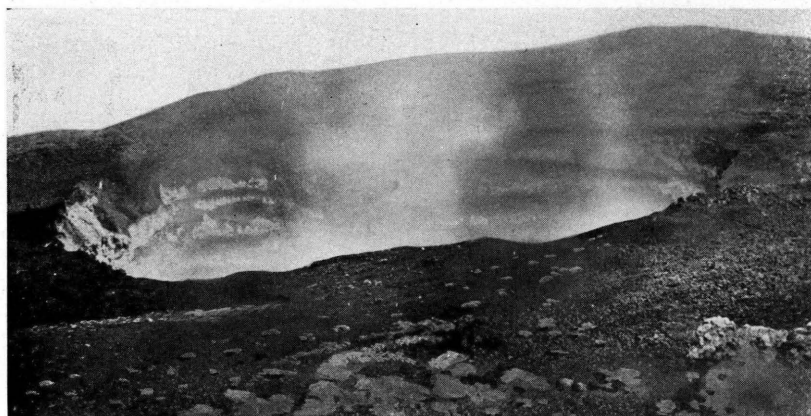


大島測候所ウーヘルト式地震計に記録された微動 (× 50)
(19日午前5時30分頃)

昭和 15 年 三 原 山 噴 火 寫 眞 (其の 1)
8.月 19 日



火 口 茶 屋 よ り 火 口 を 望 む



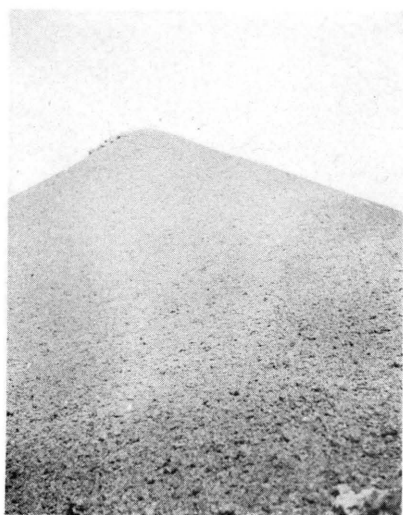
内 輪 山 の 南 西 側 よ り 火 口 を 望 む

(本多, 木澤, 柿崎報告附圖, 8 月 20 日撮影)

昭和 15 年 三 原 山 噴 火 寫 真 (其の 2)
8 月 19 日



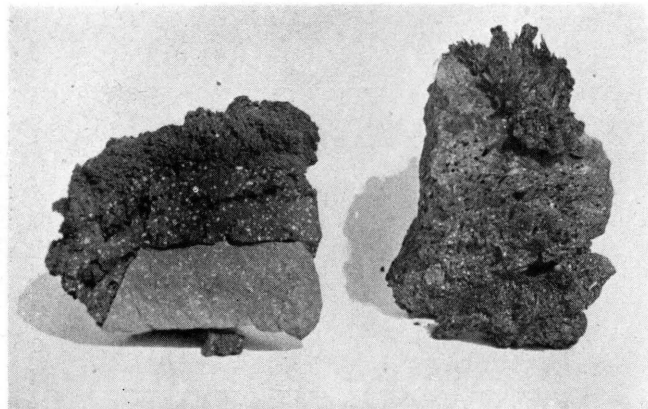
内輪山の北東側の最高所附近より火口を望む



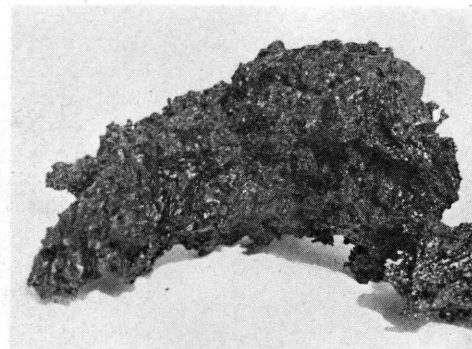
内輪山の北東側の部分

一面に堆積して居るのは新しく抛出されたコークス状の熔岩片である

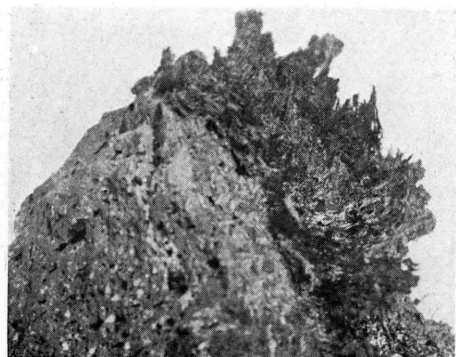
(本多, 木澤, 柿崎報告附圖, 8月20日撮影)



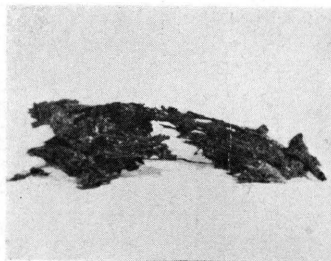
(A)



(B)



(C)

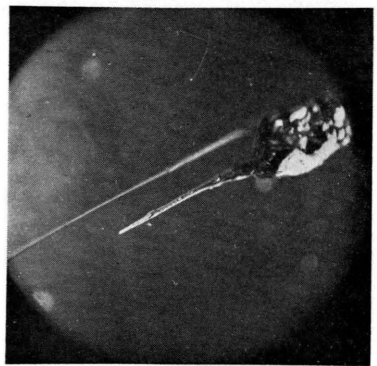
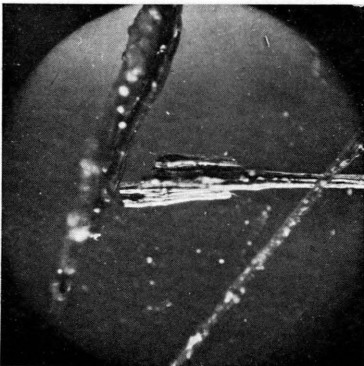
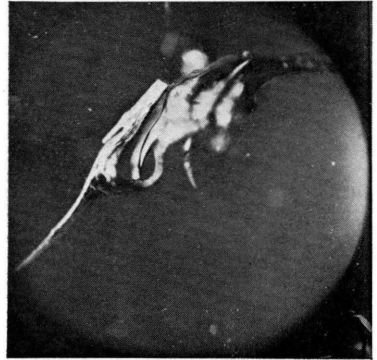
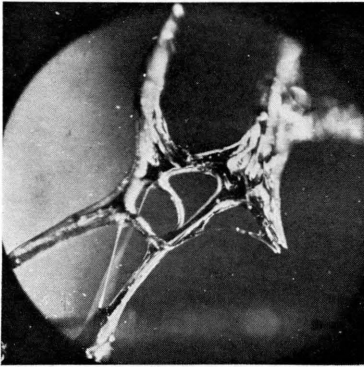
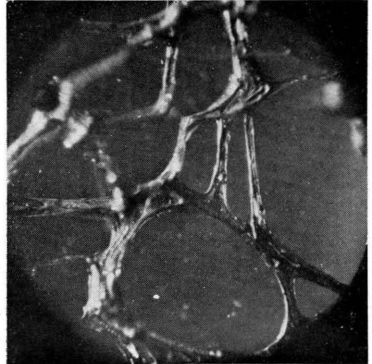
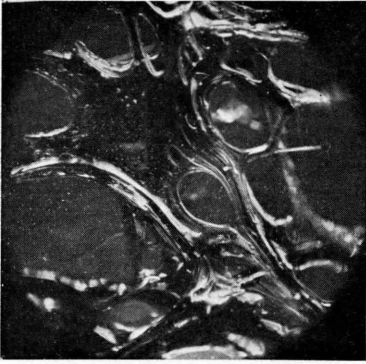


(D)



(E)

昭和 15 年 三 原 山 噴 火 寫 真 (其の 4)
8 月 19 日



火山毛の顯微鏡寫眞 (×45)

(本多, 木澤, 柿崎報告附圖, 木澤技手, 松居技手撮影)